

社会人権教育リーダー研修会

研 座 演 沙 資 映 他 体 ワ

長野県教育委員会
 長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課
 TEL 026-235-7437

実施年月日 実績等	実施日：第1回=平成16年8月31日(火)、 参加者：第1回=189人、	第2回=平成16年9月15日(水) 第2回=298人
主催(共催)	主催：長野県・長野県教育委員会 共催：千曲市	
開催場所	第1回=長野県総合教育センター 第2回=千曲市更埴文化会館	
対象	社会人権教育指導者、識字学級および日本語学級関係者、社会人権教育リーダー養成講座受講者・修了者、 人権団体の関係者、人権擁護委員など	
人権課題	ハンセン病問題、男女共同参画、精神障害者、同和問題、外国人、HIV感染者	

事業の目的

長野県では、従来から同和問題をはじめとした人権問題を重視し、その解決を目指す取り組みに力を入れてきた。その一環として、昭和39年に社会同和教育指導者研修を開始した。この研修は、人権に関する学習活動を推進するために必要な指導者の資質の向上、および指導力の強化を目的としてきた。

これを踏まえ、「長野県人権教育・啓発推進指針」「人権教育指導の手引」に基づき、様々な人権問題の解決に向けた地域ぐるみの教育を展開するために、つねに今日的な課題を明示することを心がけ、地域住民とともに活動するリーダーの資質の向上を図っている。

事業概要

研修は、昼食と休憩とを挟み、以下のプログラムで実施された。

- ①開会行事(10分間)
- ②問題提起(10分間)

内容：長野県が推進する人権教育の概要や課題の説明に加え、各会場の地域性に合わせた個別の人権問題について提起した。

③ビデオ視聴(30分間)

題名：「ハンセン病 剥奪された人権」
 内容：ハンセン病の基礎的な知識を学ぶためのビデオ。



全体講演のようす



ビデオ視聴

④全体講演(30分間)

構成：金正美さん(エッセイスト・字幕製作ディレクター)
 演題：「しがまっつ溶けた 津軽ふるさとの光の中へ」
 内容：桜井さんのハンセン病が発病してからの半生、また在日コリアンの金さんが学生時代に桜井さんに出会ってからの交流の様子などを、主に金さんが話す。

⑤講座(2時間)

講座名(5講座)および内容：

- 「子どもたちの心の声に耳を傾けてみませんか」
不登校の体験のある若者の声を聞きながら、地域で子どもたちを育てるとはどういうことか、大人は何かできるのかを子どもの人権擁護の観点から考える。
- 「ボランティア活動と人権」
ボランティアの多様なあり方を知って、自ら情報を集めて主体的に行うボランティア活動は、人権教育の実践力と深く関連する。それを踏まえ、身近な高齢者や子どもの人権を、ボランティア活動を通して考える。
- 「大江磯吉の生き方に学ぶ」
差別と闘い、暖かい母の心に支えられて教職の道に進んだ、島崎藤村の『破戒』のモデル「大江磯吉」の生い立ちを振り返り、同和問題の現状を考える。
- 「スリランカという国を知っていますか」
JICA国際協力推進員のスリランカでの体験談を聞くとともに、国際理解のためのワークショップを通じ、現在の外国人の人権問題について考える。
- 「笑顔からはじまる人権」
公民館や企業、PTAをはじめ、地域社会での人権教育に役立つ内容について、参加者全員で語り合う体験的参加型学習を通して身に付ける。

⑥閉会行事(10分間)

連携状況

共催の千曲市は、会場手配の協力に加え、市民への広報活動などにも従事した。

特色・工夫した点

全体講演では、理論的な話ではなく、体験発表の場として実践を語ってもらった。さらに、講座では地域社会で人権について活動する人を講師とし、その声を聞くことを通して、人間問題を学ぶ研修内容とした。

また、午後の講座が人権教育として位置付けられるように打ち合わせを綿密に行い、配慮した。

実施結果

参加者の反応・事業の反響等

- 講演は体験に基づく内容にしたことで、参加者自身が自分の思いと重ねることができ、実践に向けての強い動機付けになった。
- ビデオを視聴し、人権問題の理解を深める取り組みでは、参加者から「ハンセン病の基礎的な理解に役立った」という声が上がった。
- 人権問題に取り組む講師の生の声を聞くことで、リーダーの意識が高まり、資質も向上した。
- 研修会後のアンケートでは、以下のような感想が寄せられた。「桜井さんの話を聞いて、生きるということがどんなに大変なことか、でも努力によって、こんなに素晴らしい人生を送ることができるのかということ、涙とともに実感しました」「差別は自分の心の中にありますよ」という言葉はグサリと身に染みしました」「自然体の語り口で、重い話をさらっと語った三人の語り口調には感銘を受けました。

反省点・今後の課題

- 体験発表、および講座講師の人選の配慮、また講座内容についても、より入念な打ち合わせが必要だと感じた。
- 講演前のビデオ上映は賛否両論があった。今後は参加型学習的な取り組みによる導入も考えたい。
- リーダー養成講座の修了者には、ワークショップを任せるとも検討したい。
- 研修会後のアンケートでは、大半は好意的な感想を寄せているため、次年度以降も、基本的な構成は変えずに臨もうと考えている。



講座のようす